

新年のご挨拶



理事長
栗 貴 章

あけましておめでとうございます。

組合員並びにご家族の皆様におかれましては、すこやかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。また、日頃より当共済組合の事業運営に対し、多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、野球のWBCをはじめとして、女子サッカーや男子バスケットボール、ラグビーなどの世界大会が開催され、日本全体が熱気に包まれ、コロナ禍前の日常が戻ってきたことを実感した一年でした。一方で、共済組合を取り巻く環境は、団塊の世代が75歳以上となり後期高齢者へ移行し始めたことに伴う後期高齢者支援金の増加に加え、短期組合員の加入による組合員数の増加により医療費の増加傾向が強まるなど、ますます厳しい局面を迎えています。

こうした状況のなか、政府は今後も続く高齢化や人口減少を見据え、出産育児一時金の一部を後期高齢者医療制度が支援する仕組みの導入や、後期高齢者の保険料負担の見直しを含む法律の一部改正を行いました。現役世代の負担軽減効果は十分とは言えないものの、世代間の負担格差の縮小、負担能力に応じた公平な負担という観点では一歩前進したものと考えています。持続可能な制度の構築に向け、さらに実効性ある改革の実現が望まれるところです。

また、年金制度に目を向けますと、今年5年に一度の公的年金の財政検証の実施年です。財政検証結果をもとに年金制度改革の議論は進められ、前回の財政検証後には短時間労働者の適用拡大や在職老齢年金制度の見直し、年金の受給開始時期の選択肢の拡大等が実施されております。少子高齢化がますます進むなか、次期制度改革に向けた検討事項には、さらなる適用拡大や基礎年金の拠出期間延長などがあげられています。

来年度は「第3期データヘルス計画」「第4期特定健診・特定保健指導」が始まり、特定健診においては質問票の項目がより詳細に把握できる内容に見直し、特定保健指導ではアウトカム評価を導入し、成果を重視するようになるなど、共済組合の要であります保健事業に関わる見直しが実施されます。当組合としましては、これまで以上に効果的・効率的

な事業展開を目指し、事業運営を行ってまいります。皆様におかれましても、被扶養者の方も含め、当組合が実施する特定健診や特定保健指導などを積極的にご利用いただき、健康管理にご留意くださいますようお願い申し上げます。

栗津温泉「おびし荘」においては、コロナ禍の影響も和らぎ、利用者数も増加傾向にあります。今年3月まで利用可能な特別割引券に加え、各種プランをご用意し、皆様に満足いただけるようサービス向上に努めてまいります。本年もご愛顧くださいますよう、よろしくお願いいたします。

結びに、皆様のますますのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

